

6日目 4月30日

会 場： 松江市営野球場

第2試合		～準々決勝～																
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
大 社	0	3	0	4	0	0	0	2	0							9	12	1
出雲西	1	0	0	2	0	0	0	0	0							3	8	6
(投手―捕手)																		
・ (大)	馬庭→岸 - 石原																	
・ (出)	岩田→竹ノ内→坂根 - 犬飼																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (大)	坂根、藤江												藤田					
・ (出)	草岡																	
(審判) [球審] 平安山		[一塁] 瀧隆				[二塁] 石本				[三塁] 大畑								
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(大)	50	12	6	2	0	1	5	8	3	3		0		1	0	0	0	0
(出)	36	8	3	1	0	0	3	0	1	0		0		6	0	0	1	0

「大社、逆転で4強決める！」

出雲西が守備が6失策と乱れたことが印象的な試合となった。1回裏、出雲西は1番中島が安打で出塁し、2番月森の犠打で好機を作る。2死3塁とし、4番犬飼が二遊間を破る適時打を放ち、昨日から連投となった大社先発の馬庭の立ち上がりをつまみ先制点を奪う。直後の2回表、連打で1死1・2塁とし、7番藤原の左中間深くへのフライで2塁走者の藤田がタッチアップで3塁へ進む。その後、2死満塁となり、9番馬庭がセンターへの適時打を放つ。続く1番小村にも適時打が生まれ、大社が逆転に成功する。

4回表、大社はこの回から継投した竹ノ内の立ち上がりを攻める。無死1塁から、1番小村のバントが内野安打となり、無死1・2塁と好機を広げる。2番石飛が犠打を決めると、三塁手が悪送球する間に1点を追加する。なおも無死1・3塁の好機に3番藤江がレフト線への適時2塁打を放つと、左翼手の返球が逸れる間に1塁走者も生還し、2点を追加する。更に4番石原の犠打を投手が悪送球し、3個の失策が重なり大社が一挙4点を追加した。大社は8回にも藤田の本塁打などで2点を追加した。

出雲西は4回裏に8番草岡の適時2塁打で2点を返したが、5回以降は大社2番手の岸に僅か2安打に抑えられ得点を奪うことができなかった。この結果、大社が2021年夏以来約2年ぶりに4強進出を決めた。

